

# 令和3年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、**日常起こり得る「事故」「災害」への対処訓練**を行う目的で「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、日常訓練により培われた技術が、来たる大規模災害への対応に繋がると確信し、各種の講習会や実技訓練を積み重ねております。また、これらの**訓練を継続することで、迅速な災害対応ができる職員の育成と水道技術の継承**が成されるものと考えます。

## 漏水修繕訓練(CAジョイントによる止水)を実施しました

令和3年6月24日(木)及び8月12日(木)におきまして、**CAジョイント(※)を使用した漏水修繕訓練**を実施いたしました。

具体的には、破損等で漏水してしまった石綿セメント管と、補修用のダクタイル鋳鉄管を接合する作業となります。本来、石綿セメント管は材質や老朽化などの理由から、全てを計画的に更新する必要がありますが、施工に制約のある一部の箇所に残存しているため、災害や事故時など、応急的に水道管を復旧する場合に有効な手段となります。

(※)ダクタイル鋳鉄管と石綿セメント管を接合する水道用継手部材(本訓練ではφ75を使用)。



- ・ CAジョイントの準備と材料確認



- ・ CAジョイント設置状況(説明)



- ・ CAジョイント締込状況



- ・ CAジョイント接合完了

- ・ 上尾市上下水道庁舎敷地内にて開催(令和3年度 第12回 漏水修繕CAジョイント接合)

## 事故を想定した「管洗浄」方法を検討しました

令和3年7月9日(金)におきまして、水道管が事故等で大きく損傷したケースを想定した「管洗浄」方法を、ディスカッション形式で検討いたしました。

水道管が大きく損傷した場合、水道管内部の水流(流速や流向)が著しく変化し、管内の水道水に濁りが生じてしまいます。そのまま放置してしまえば、濁りは市内に広がり、深刻な水質事故に繋がるため、管内の濁り水を迅速に排水する「管洗浄」作業が重要となります。そこで、今回は**有事の際に一刻も早く良質な水道水を市民の方へお届けするため、より効率的かつ効果的な「管洗浄」方法を検討**いたしました。



- ・ 実動班を3つのグループに分け、ディスカッション形式にて管洗浄方法を検討



- ・ 各グループが考えた「管洗浄」方法を発表し、全員で最良な方法を検討
- ・ 上尾市上下水道庁舎会議室にて開催(令和3年度 第9回 管洗浄第三課程 § 5)



## 事故を想定した「管洗浄(実技)」訓練を実施しました

令和3年7月19日(月)、7月26日(月)、8月19日(木)及び8月26日(木)におきまして、7月9日(金)(前頁参照)の検討内容を取り入れた「**管洗浄(実技)**」訓練を実施いたしました。**座学で得た知識を実技訓練にて反復することで、職員の技術力向上と定着を図ります。**

具体的には、上尾市内の交差点で発生した水道管損傷事故を想定し、漏水している管路を止水することから始め、修繕工事によって復旧された管路への通水及び洗浄を迅速に行う作業となります。災害や事故時など、安心・安全な水道水を一刻も早く市民へ供給するため、必要不可欠な技術となります。



- ・ 事前ミーティングにて、現地の配管状況、作業方法や役割分担などを確認



- ・ 指揮者の作業指示のもと、各仕切弁操作者が的確に仕切弁の開閉操作を実施



- ・ 安全作業のため交通誘導員を配置
- ・ 水質に異常がないことを確認し開放
- ・ 上尾市内 市道交差点にて開催(令和3年度 第10,11,13回 管洗浄(実技))